
Cシリーズ

三谷尾だま

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シリアーズ

【Zコード】

Z3389BA

【作者名】

三谷尾だま

【あらすじ】

毎回、どこかにキュラソーさんが出てくる、結局、何なのかよく解らないシリアーズ。それぞれの話は読み切りで、あらすじと傾向は各冒頭にあります。どの話からでも読めます。すつきりしない話ばかりなので、曖昧な終わり方が嫌だと読みづらいと思われます。

現在、以前ブログに載せていた一編しかないため、そのあとどうあれず完結表示にしておきます。

マーガリート幻想・前編（前書き）

この作品は、PG12程度です、約3,700字。あらすじ：私は、戻つてこない夫を待ち、日に日にやつれしていくマギーを心配していた。買い物の帰りに、ある男性にぶつかり……。キーワード：殺人事件

マー・ガリート幻想・前編

私は、庭弄りの手を止め、額の汗を拭つた。花壇の雑草を引き抜いたときにかかつたであろう土を、白い花びらから払つた。たくさんのマー・ガリートが、花壇には咲いている。

ゆっくりと立ち上がり、抜いた雑草を入れていたバキットを隅に寄せた。花壇は作業を始めるまえよりも明らかに片付いた。私は少しの満足感を思える。

休憩をしようと、作業用の手袋を外してスカートの裾を払う。手を洗つていると背後から人の気配がした。振り向けば、彼女が立っていた。

「わたし、もう駄目だわ！　あの人は今日も帰つてこない。きっと、わたしのことが嫌になつたのよ」泣きながら彼女は言つ。

「そんなことはないわ、マギー。彼は、きっと帰つてくるわよ」私は、そう言って彼女を慰めた。

「でも……、もう彼が帰つてこなくなつて一週間も経つのよ？」

「捜索願は出したのでしよう？　警察が見付けてくれるわ」

それから、夫が失踪したといって取り乱している彼女の、もう何度も目かになる話を聞いて、相槌をついて励ます。どうにか彼女は落着きを取り戻し、しきりに涙を拭いていた。

「そんなに落ち込んでばかりでは駄目だわ。そう、これから一緒にお茶の時間にしましよう、ね？」

「でも……、そんな気分じゃないわ。気が気じやなくて」

「だからよ。一緒にケイクでも焼きましょう。そうしたら、きっと気分も紛れるわ。私、材料を買ってくるから、貴女、準備をして頂戴な」

上手く彼女を宥めると、彼女も少し乗り気になつたようで、無言で頷き、準備をするために彼女の家の方に歩いていった。彼女の家には、性能の良いアブンがあった。

私は溜息を一つ吐き、玄関の棚からハサミを取つて、花壇に咲いているマーガリートをメインに、いくつかの花を切つた。それを持って台所へ行き、花瓶に活けると見栄えをチェックする。上出来だつた。

冷蔵庫の中と棚を見て、在庫を確認して財布の入った小さな鞄を手に取る。買い物が終わつたあとでマギーの家に持つていこうと、花瓶は玄関の靴箱の上に置いて家を出た。出掛けに彼女の家を見る。この位置からは、彼女の姿は見えなかつた。

どんなケーキを作らうかと道すがらに考え、やはりこには、気取らずクリーミーティが良いかも知れないと思つた。クロッテッドクリームはある。スコンを作れば良い。

紅茶は彼女の家にあるだろ？。そうだ、そうしよ？。

ほとんどの材料は、既に揃つてゐるようだつたので、なにかおいしそうな果物でもないかと、青果コーナを眺めた。赤い、ラズベリイがとてもおいしそうだ。この間、買つたばかりのおいしいストロベリージャムを出そう、と考えてはいたが、そのラズベリイがあまりにもおいしそうだったので一盛り購入した。

ほかにも夕食用の材料をいくつか購入し、早々に店を出る。

二人でお茶を飲んだあとに、夕食も一緒にしよう。可哀相なマギー。あんなにやつれてしまつて、ちゃんと食事を摂つていないと違ひないだろ？。

私は家路を急いだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3389ba/>

Cシリーズ

2012年1月8日20時47分発行